



第50回 中国大学バスケットボール選手権大会

〈大会要項〉

1. 主催 公益財団法人日本バスケットボール協会
一般財団法人全日本大学バスケットボール連盟
中国大学バスケットボール連盟
2. 主管 一般社団法人岡山県バスケットボール協会
各県大学バスケットボール競技・運営委員会
3. 後援 一般財団法人岡山市スポーツ協会
4. 期日・会場 5月3日（金）～6日（月） 水島緑地福田公園体育館
5. 競技方法 ①大会参加チームが最低3ゲーム以上の試合数を確保し、トーナメント戦において順位決定戦を行う。
②審判については、原則として「スリーパーソン・システム」で行う。
6. 参加チーム 中国大学バスケットボール連盟登録チーム
7. シード権 令和5年度中国大学選手権大会ベスト8チームにシード権を与える。その他については中国大学バスケットボール連盟の責任抽選とする。
8. 大会規定
 - 1) 大会登録
 - ・大会登録は、スタッフ10名以内、選手制限なしとする。
 - ・試合当日のエントリー（ベンチメンバー）は、選手15名以内、スタッフ（部長・監督・コーチ・アシスタントコーチ・主務・トレーナー他）7名以内とする。但し、部長・監督・主務以外のスタッフの名称は、各チームによって変更可能である。また、部長が監督を兼務している場合は1名として数える。
 - ・コートアップができる選手も上記の15名とする。
 - ・大会エントリー締切り期日以降の登録変更は一切認めない。
 - ・2024年度1部所属チームは、JBA公認C級コーチ以上の資格保持者（1名以上）を登録すること。試合において、C級コーチ以上のJBA公認コーチがベンチ内にいない場合は、原則没収試合とする。また、ライセンス保持者は、試合中にJBA公認コーチ証を胸の前に提示すること。
 - ・特別措置として①受講中の場合は認める（JBA公認D級コーチ資格保持者に限る）。②チーム就任1年目に限り可とする（①②の解釈は②でかつ①であること）。
 - ・2024年度2部所属チームは、JBA公認E級コーチ以上の資格保持者を1名以上大会登録すること。試合において、E級コーチ以上のJBA公認コーチがベンチ内にいない場合は、原則没収試合とする。また、ライセンス保持者は、試合中にJBA公認コーチ証を胸の前に提示すること。
 - ・JBA規定による外国籍選手については、大会登録での人数制限は設けないが、競技中コート上で同時にプレイできる外国籍選手は1名とする（オンザコート1）。
 - 2) 大会登録の追加および変更
 - ・大会追加および変更登録締切り期日以降の変更は一切認めない。
 - ・選手一人ひとりが個人番号を有していることとする。
 - 3) 試合当日のエントリー方法

- ・当日の試合に出場する選手およびスタッフのエントリーは、指定された用紙に必要事項を記入し、前の試合のハーフタイム終了時まで各会場大会本部に提出すること。但し、第1試合の場合は試合開始45分前までとする。
- ・当日エントリーの手続き以降は、ベンチメンバーの追加・変更を一切認めない。

4) ユニフォーム

- ・ユニフォームは、組合せ番号の小さいチームが淡色（白色）、大きいチームが濃色を着用する（但し、2回戦目からは当該大学間で話し合いにより大会本部の了承を得た上で変更してもよい）。
- ・ユニフォームの番号は、1番から99番までと、0番または00番を使用することができる。また、07のように1桁の番号の前に0を使用することはできない。
- ・大会登録の際、主将（キャプテン）を一番上に置く。その他の記載順については番号順とする。
- ・ユニフォームの襟や肩から上半身用のアンダーウェアがはみ出すことは認めない。
- ・ユニフォームのシャツからはみ出してしまう腕用のサポーター（パワー・サポーター、パワー・スリーブなど、通常のサポーターも含む）を着用する場合、淡色（白色）のユニフォームの場合は、ユニフォームと同色もしくは黒色のものを着用することができる。
- ・ソックスは、チームの全選手が同じ主となる色でデザインされたもので、試合中見える状態でなければならない。
- ・パンツの長さは膝上までとし、膝頭にかかってしまうパンツはユニフォームとして認められない。

【当連盟独自の例外規定】サポーターおよびテーピングは、コンプレッションスリーブやリストバンドと同様に、チーム内で色を統一し着用することが望ましいが、必ずしもチーム内で色を揃える必要はない。

- ・やむを得ない事情により上記を順守できない場合は、事前に本連盟に申請し、許可を得ること。

5) ベンチ

- ・ベンチは、組み合わせ番号の小さいチームがオフィシャル席に向かって右側とする。
- ・ベンチには当日エントリーされた選手およびスタッフ以外は入れない。
- ・不測の事態によりコーチ資格保持者が試合開始時刻に間に合わない旨を連絡で受けた場合や、緊急事態が発生したためコーチ資格保持者と連絡が取れないと推測される場合は、コーチ資格保持者が不在であっても本連盟の判断で試合を開始することができる。いずれの場合も、コーチ資格保持者が試合開始時に不在となったチームの代表者は、速やかにその理由を証明する書類を大会本部まで提出しなければならない。（所定用紙提出）
- ・上記書類を審査し、コーチ資格保持者が不在となった理由が緊急かつやむを得ないものであると認められる場合に限り、本連盟は試合の成立を認めることができる。尚、上記の案件が発生した場合、試合終了後10日以内に当該チームは本連盟宛に「大会中のコーチ資格保持者不在による報告書」を提出することとする。

6) 試合中

- ・サインをしたコーチ（第1チェック者）以外は、試合中にチームベンチエリア内で立ち続けることはできない。タイムアウトについても第1チェック者のみが請求できる。
- ・但し、2部所属チームで選手兼コーチとしてスタッフ登録をした者が選手として出場し、ベンチに誰もいない場合に限り、タイムアウトの請求権をベンチにいる非資格保持者に委任できる。また、2部所属チームで選手・スタッフ併せて5名の場合に限り、タイムアウトの請求をコート上の選手兼コーチから請求する事ができるが、試合開始前のサイン時に相手チームおよび審判に、その旨を報告すること。
- ・チームベンチエントリー者は着席してはならない。

7) 棄権

- ・やむを得ない理由で棄権を申し出る場合は、該当試合の前日 24 時（深夜 0 時）までに大会本部または本連盟事務局に連絡をすること。
- ・試合開始予定時刻より、15 分遅れた場合は没収試合とする。また、指定されたユニフォームが揃わない場合も、これに準ずる。
- ・ゲームを棄権した場合も、原則として割り当てられた TO 業務は行うこと。
- ・無断で棄権した場合は、理事会の協議により後日チームに何らかの処分を下す。
- ・チームが急な事故に遭い棄権する場合は、ただちに大会本部に連絡すること。なお、その処置については理事会で審議する。

9. 注 意 事 項

- 1) テーブル・オフィシャルズおよびフロアワイパー係等は、試合開始 10 分前にそれぞれ指定の場所に着くこと。
- 2) 選手は不測の事態に備えて必ず保険証を持参すること。
※大会中、各自でスポーツ傷害保険に加入するなど、自己責任で対処すること。試合中の事故についても大会主催者は責任を負わない。
- 3) ユニフォームへの着替えはベンチやスタンドなどの公衆の面前では行わないこと。
- 4) 貴重品の管理は各チームで行うこと。
※自己責任で管理すること。大会主催者は一切の責任を負わない。
- 5) チーム荷物の保管については、観覧席で観戦されている方の邪魔にならないように配慮すること。
- 6) 選手は、「中国大学バスケットボール連盟規約および各細則」を厳守すること。特に選手の倫理規定を厳守し、本連盟の選手としての品格を保つこと。
- 7) 万一、不測の事故等にあった場合は速やかに大会本部または本連盟事務局に連絡すること。この場合、試合日時変更等の処置については、本連盟競技部の決定による。

全ての問題については、本連盟の判断を最終決定として指示に従うこと。

※上記大会規約以外のルールは、「2024バスケットボール競技規則」、「(一財)全日本大学バスケットボール連盟定款・基本細則」、「中国大学バスケットボール連盟規約・細則」を適用する。その他、社会的状況、行政指導、または、JBA からの指示等によって一時中断または大会を中止する場合がある

本大会は「JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン第 6 版」「UNIVAS 大学スポーツ活動再開ガイドライン第 7 版」を遵守して開催する。なお、大会期間中に JBA 第 7 版、UNIVAS 第 8 版が公開された場合は、即時に最新版の遵守へと移行する。